

スローライフだより 85

~Think globally, act locally~

第85号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1

TEL/FAX 0985-62-4233

<http://www.slow-life.or.jp>



生目の杜運動公園の円形プロムナードの様子です。
(撮影日:令和7年12月 撮影者:森 武美さん)

行事報告

11月

3日 生目の杜運動公園 ボランティア一斉清掃
11日 令和7年度第5回 役員会
13日 生き生き市民農園収穫祭
21日 生目小学校昼食会

12月

2日 生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽



生目の杜運動公園 ボランティア一斉清掃のお知らせ

日 時:令和8年1月25日(日) 午前8:30~

集合場所:アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)

隠居家に住めば！！



森本 雍子

毎年、年の瀬が迫ると10年ほど前に出会った長谷川等伯の「松林図屏風絵」を思い出す。等伯の日本画は一瞬にして慌しい世界を静寂の世界にかえる。

その日、宮崎観光ホテルで小説家安部龍太郎の講演会が開かれていた。休憩時間に安部龍太郎の新書「等伯」のサイン入り上巻が売り出されるというのでならんだ。講演会のタイトルは忘れたが、話されたことは、等伯の松林図屏風絵にまつわる話だった。

主催者は九州文化協会。亡くなられた渡邊綱纈さんが九州文化協会の副会長という要職に在られたので、広い会場も多くの人々で賑わっていた。

その後「等伯」の下巻を求めた。等伯は筆をとるにあたり「気嵐」という言葉、その状況を大切にされているようだ。

私は中国の満州（中国では東北という）ところで出生した。冬はどんよりと 極寒と呼ばれる日々が長く続いた。等伯の出身は日本海に面した能登地方だったと思うが冬の初めの冷え込みはきつく七尾の海には一面に気嵐がたちこめていたらしい。この気嵐に等伯の作品は影響を受けているように思える。寒風に吹きさらされた浜辺の松は、遠ざかるに連れて気嵐の中に消えていく。大陸の極寒の寒さというか日本海の寒さはそれぞれに違っていた。

その後、安土桃山時代の作品の松林図が、東京上野の国立博物館で観られるとの朗報に心が踊った。しかも、正月の特別展だ。夫に「行きたいのだけれど」と相談したら「行ってみよう」と気軽に行かせてくれたので今も感謝している。その日観た『国宝 松林図屏風 六曲一双』には『白い和紙の上に墨の濃淡だけで、風と光の情景が描き出されている。画面に近づいて松の葉をみるとその激しい筆勢に押され後ずさりするくらいだ』とある。展示ガラスと会場のうす暗い静寂のなか息を呑んだのだ。中国絵画から学んだという水墨表現に描かれた等伯の「松林図」を重ねたのであった。

令和も7年歳末近く11月の連休に孫一家が大阪から帰ってきた。孫の仕事の関係上、暦通りの休みではないらしい。孫の帰省は両親のいる隣の娘夫婦のいるところであるが、必然的に曾祖父母に当たる隠居家にあがってくる。「こんにち」と共に曾孫の二人はリビングに来ているのだ。孫は感心にも隣の部屋の仏壇に灯をともし線香をあげている。嫁は玄関に脱ぎ捨てられた履き物をそろえている。明るくて良く気のつく女性である。さつまいもを揚げたチップスを食べ始めた。アックン7歳、トモ君3歳である。「飲み物は何がよいの」と聞く。「カルピスしかないわねえ」と私が言うと、お兄ちゃんのアックンは「ぼくそれで良いよ」と言ってくれた。トモくんは「ぼく豆乳」と言うので、困って「それが無いので麦茶は？」と言うとママが「よかったね、それになさい」と助け船だ。アックンも「ぼくもそれにしよう」と言っている。やはりお兄ちゃんはその場をよく取り繕ってバランスをとっている。狭い隠居家も捨てたものではないなあと思う。

12月に入りクリスマスプレゼントには早い絵本を届けた。「パンどろぼうとスイーツおうじ」をトモくんへ「ミックおもちゃとつきゅう」をアックンへ送った。ママから早速電話があった。「もう二人とも、その喜び方が尋常でなかった。」とのこと。嬉しいニュースである。

正月の花の季節となったがこの隠居家には、床の間もないのだ。等伯の世界とは大きな違いである。

ところで、最近「松林図屏風絵」は展示されているのだろうか。10年ぶりに国立博物館へ電話を入れる。「はい、このところ毎年お正月に展示いたしております。2026年1月1日午後1時～12日までとなっていますが、定休日の5日は休みでございます。」素晴らしいお正月となりそうだ！！



生目の杜運動公園周辺のボランティア清掃



秋のボランティア清掃を行いました。「11月3日（月）実施」

地元の生目の杜運動公園周辺はいつでもきれいな公園でありたいとの思いを込めて清掃活動を行いました。

朝早くからの清掃活動でしたが、今回もたくさんの方にご参加頂きました。（参加者・・・25名）



生き生き市民農園収穫祭

11月13日（水）に生き生き市民農園利用者の方々との親睦を深めるために、収穫祭（食事会）を行いました。

当日は残念ながら雨が降り屋内のスローライフ宮崎の事務所下やテントの中で食事をして頂きました。

雨天での開催でしたが、スローライフ宮崎役員を含めて35名の方にご参加頂きました。



雨が降る寒い中ご参加頂きまして
ありがとうございました。

生目小学校交流給食会

11月21日（金）に生目小学校より、お米作り体験のお礼として給食会にご招待を頂きました。

スローライフ宮崎から6名が参加し5年生の生徒さんと一緒に収穫したお米を頂きました。

生徒さんと楽しい時間を過ごせました。



生目の杜運動公園花壇植栽

11月25日から数日かけて次の花植えの準備を行いました。コスモスを引き抜き、土を耕し土壌を消毒して、肥料をまき12月2日にピオラを植栽しました。

福岡ソフトバンクホークスが日本一になりましたので、お祝いの気持ちを込めて花文字で花壇を彩りました。ぜひアイピースタジアム上段から花壇をご覧ください。



生目の杜運動公園南駐車場南ゲート
出入口の市道沿いの花壇にナデシコ・
金魚草を植栽しました。

1月～4月の予定

1月 25日
2月 1日～

生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
生目の杜運動公園駐車場料金徴収業務 (3月1日迄)



委託業務関係

2月～4月

毎月第1火曜日

毎月第3火曜日

※ 駐 車 場

※ 花 壇 管 理

駐車場料金徴収員会議

花壇管理者会議

土、日、祝日、キャンプ期間中

随 時

スローライフ事務所

スローライフ事務所

駐車場料金収納・送迎車両受付
(10:00～18:00)

お便り大募集！ 86号(4月発行予定)、87号(7月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



明るくすんだ空の下 はるばるにおうなたね畑 豊かなめぐみにつつまれて のびるわれらはよい子ども
生目 生目 われらのふるさと
春には黄色くいろすいたなたね畑(一番)
秋には一面がまっかにうれたみかん畑(二番)

生目小学校を卒業された人だったらほとんどの人が覚えておられると思います。私達が子どもの頃の 戦後のふるさと生目の景色が目にかぶようです。

この生目村立生目小学校校歌の作詞者は我が郷土生目村下小松出身の長嶺宏先生であることをご存じの方は少ないのではないのでしょうか。学校制度が変わった戦後の混乱期に生目小学校、宮崎大宮高校、櫛小学校、有水小学校その他数多くの校歌を作詞されました。

長嶺宏先生の歌詞は大宮高校の校歌にあるように『真 善 美』つまり平和の理念のもとに書かれたものであると私は信じています。大宮高校のOBの私の恩師が「文章を読むとき、この本は真実 哲学をかたった本か 善つまり誠実 倫理、あるいは美 芸術をかたった本なのか、頭の中で想像しながら読むとよく理解できるよ」また「ものを書く力より読み取る力、話す力より聞き取る力の方が大事なんだ」ということも教わりました。

書く力、話す力の方が大事なような気もしていましたがようやく最近理解できるような気がしてきました。

長嶺宏先生の略歴は1908年(明治41年)生目村下小松生まれ 旧制宮崎中学校 第七高等学校を経て東京帝国大学文学部を卒業され、宮崎大宮高校の初代教頭となる。昭和25年1月16日に大宮高校校歌として制定される。その後宮崎大学学芸学部の教授。91歳で逝去

この欄の最後になりましたが、新年あけましておめでとうございます。今年もNPO法人スローライフ宮崎を盛り上げましょ
う！！
(長谷川 令和8年1月5日)